



2019年度

第1回

施設・環境・設備安全セミナー

『物的環境』から 考える患者安全

札幌開催

日時：2019年7月18日（木）13:00～17:00**会場：手稲溪仁会病院 溪仁会ビル2階会議室****アクセス**

JR 札幌駅 → 電車（約15分） → JR 手稲駅 → 徒歩（約5分） → 手稲溪仁会病院

形式：事例発表、グループワーク**対象：病院にご所属の医療安全管理者、各部門のリスクマネージャー、
感染管理者、事務職、施設管理・整備に関わっている方など**
※職種は問いません**定員：50名**

※ 1病院何名様でもお受けします。

参加費：無料**セミナー参加者の声**

- ◆ グループワークの題材は、実際の事例なので、対策を考えやすい。
- ◆ 当院もリニューアル移転を控えており、病棟設備を考えていく上で大変参考になった。
- ◆ 他院の事例を通し、自施設においての環境を見直す視点を知る事ができた。
- ◆ 建築関係の方からの意見が聞けて良かった。

お申し込み期間：2019年4月16日（火）～6月28日（金）プログラム詳細は、協議会ホームページ(<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/>)で4月下旬にご案内いたします。

お問い合わせ

(公財) 日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進課 熊谷・大鹿 TEL 03-5217-2326 (直通)

※ご登録いただいた個人情報は、当機構の個人情報保護方針に基づき安全かつ適正に管理いたします。

プログラム

時間帯	プログラム	講師・ファシリテーター (敬称略)
13:00~13:15	開会挨拶・イントロダクション	笥 淳夫
13:15~13:30	事例発表 (2~3事例)	会員病院より
13:30~14:10	グループワーク① (事例分析・協議)	(部会員が ファシリテーターとして入ります)
14:10~14:50	グループワーク① (発表)	(部会員が ファシリテーターとして入ります)
14:50~15:05	休憩	
15:05~15:55	グループワーク② (事例分析・協議)	(部会員が ファシリテーターとして入ります)
15:55~16:35	グループワーク② (発表)	(部会員が ファシリテーターとして入ります)
16:35~16:45	物的環境要因を抽出する手法の紹介	笥 淳夫
16:45~17:00	総括・閉会挨拶	笥 淳夫

※進行予定や協議時間等については予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

分析する事例 物的環境に関連する事例集より

- ◆ 「ベッド柵の根元が折れて患者がベッドから転落してしまった」
- ◆ 「シリンジポンプで持続点滴中、押し子部分に点滴スタンドの取っ手が引っ掛かった」
- ◆ 「患者がオーバーテーブルに手を掛けて立とうとして転倒してしまった」
- ◆ 「患者の頭上に設置されている吸引瓶が落下し、左頬部に皮膚損傷が生じてしまった」

……など

講師・ファシリテーター 施設・環境・設備安全部会メンバー

◎ = 部会長 (五十音順・敬称略)

◎ 笥 淳夫	工学院大学 建築学部 建築デザイン学科 教授
楠本 茂雅	社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 クオリティ管理センター 部長
小林 健一	国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 上席主任研究官
柴田 康宏	社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 品質管理部 部長
樋口 広行	社会医療法人 喜悦会 那珂川病院 法人本部事務局 事務長
三浦 雅博	三浦雅博アトリエ